きがけ　1990年（平成2年）2月19日　月曜日

会場に笑い 家族の歓声

早食い競争に奮闘

花火の打ち上げも

大曲の冬まつり第二回ゆきゆきカーニバル（大曲市おまつり推進協議会主催）がこのほど、市営球場で開かれた。当日はあいにくの雪だったが、それでも家族連れを中心に大勢の市民が詰れ、各種イベントを楽しんだ。

モロヘイヤうどん二杯を食べる早食い競争では、勢いよくうどんを口に入れたが、熱くてのみ込むことができず顔を赤っ赤にした二四歳八名が参加し、会場は笑いに包まれた。

スコップ一本で百分間で雪を積み上げ、その高さを競う「スノーピラミッド世界大会」（仙北郡西仙北町かえる町共和園共催）には十七人が出場した。頑張り屋の佐々木正光さん（四四歳）が三メートル二六センチを積み上げて優勝、賞金十万円を手にした。

このほか、かき氷早食い競争、雪上豆押しクイズ、宝探しなどが行われた。また、会場にはラーメンや飲み物などの各種屋台も設けられたほか、ホーバークラフト、スノーモービルの試乗会もあり、集まった市民らを楽しませた。

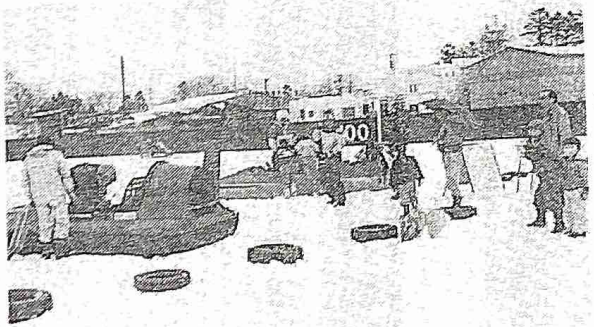
「冬に輝く朝光と音のパラダイス」と題した夜の部は大曲仙北広域消防組合の勇壮な消防太鼓、粉雪の舞で幕開け。続いて地元バンドによる五十～六十年代の懐かしいロックのヒット曲が会場に流れた。

フィナーレを飾ったのは花火ショー。"花火の雨"だけあって、レーザー光線と音楽の流れる中、スターマインや色とりどりの花火が打ち上げられ、観覧客を幻想の世界へと誘った。

早食い競争では熱くて思うようにのみ込めず四苦八苦

カメラ 撮影

スコップ一本で雪を積み上げていく



子供たちの人気を集めたホーバークラフト、スノーモービルの試乗会

朝日新聞（夕刊）
13　スポーツ　2版　1996年（平成8年）4月5日　金曜日

やってます 面白スポーツ

スノーピラミッド世界大会

秋田・西仙北町

雪積み100分、高さを競う

西仙北町は秋田県南部の豪雪地帯だ。長い冬を屋内でじっと耐えて過ごすのではなく、外に出て雪を思い切り楽しみ、自分たちから春を呼ぼうと、十一年前から始まった。

やり方はきわめて簡単。雪が積もっている小学校の校庭で、100分の制限時間内でスコップひとつで雪を積み重ねていくのだ。

形や作り方は自由だが、最後に上に登るところがミソ。かまくらのように円形に積むと、高くなるにしたがって下も大きなものにしなければならず、固めないと上に乗ることが困難になる。上に登ったとたんに滑り落ち、失格した人もあったという。四角な雪の塊を積み重ねていく、「ピラミッド方式」が一番有利らしく、これまでの最高記録は三メートル。

ことしは三月十日の吹雪の中、五人が挑戦、横手市の中川原信一さんが十一代目ウインターファラオの座について、賞金五万円を手にした。ちなみに高さは史上五番目の3メートル。

これまでタンザニアの留学生や鹿児島からの観光客が参加したこともあるが、やはり地元中心。ことしは大雪の処理に追われた疲れもあってか、例年より少なかった。

遊び心の豊かな人を大勢集め、地区別予選、国別予選まで開きたいという発案者の佐々木正光さん（四四）。「一力だけではだめ。知恵によって積み方を考えたり頭も要求される。土台をきちんと積まないと上に立てないというのは人生のようでもあるし、これでなかなか奥が深い」そうだ。

◇

地域のスポーツが多様化している。昔からの伝統がそのまま息づいているものの、町おこし、村おこしのために工夫されたユニークなもの。そんな各地の一面白スポーツ」を紹介する。

◆各地の面白スポーツを募集しています。新しく考案した催しや、郷土色豊かな遊びなど、情報をお寄せください。あて先は〒104-11、東京都中央区築地5の3の2、朝日新聞東京本社運動部夕刊スポーツ係まで。FAXは03-3545-0302です。

積み方に創意工夫も要求されるスノーピラミッド